

シルクロードの行政官が金沢城復元事業に 学ぶ遺跡を活用した観光振興

～文化財の保存と観光振興への活用の両立を目指して～

(独)国際協力機構(JICA)は学校法人立命館の協力のもと「世界遺産の適切な管理を通じた観光振興」研修を実施しています。世界遺産管理担当者及び世界遺産を観光資源として活用する観光振興担当者を対象とした約1ヵ月にわたる研修で2016年より実施しています。

本コースの研修員の母国、古代シルクロードと呼ばれる交易路にある国々は、多くの世界遺産や登録を目指している遺跡などの文化遺産を有しています。遺跡の保全では、遺跡そのものを保存することが一般的ですが、観光客をはじめ一般の人には、お城など実存した建物が復元されている方が分かりやすく、観光客の集客にもつながります。そういった意味で、金沢城の積極的な復元事業は、研修員が自国の遺跡の魅力を伝える大変有効な事例です。

研修員たちが直面している、「文化財の保全とその観光振興への活用」について、金沢城やその周辺地域を訪問し、その取組みをモデルケースとして学びます。

2019年12月13日(金)に、以下の日程で訪問いたします。研修員へのインタビューと取材を是非ご検討ください。

10:00～12:00	見学	金沢城公園	講師:押野 朗 氏 石川県金沢城・兼六園管理事務所次長
12:30～14:30	見学	兼六園、近江町市場	講師:山崎 正史 氏 立命館大学名誉教授

参加研修員: アルメニア、カザフスタン、キルギス共和国、タジキスタン、ウズベキスタン、
(5か国9名)

【本件に関する問い合わせ先】	
JICA 関西業務1課 畑山 ゆかり	
TEL	078-261-0383 e-mail : Hatayama.Yukari@jica.go.jp